

地誌 第5回「朝鮮半島地誌② 韓国の産業と生活／交流と今後の動向」

○今回のポイント

開発独裁と輸出指向型工業で経済成長を果たした韓国は、アジア通貨危機を乗り越え、工業化を果たした。

第Ⅲ部 1章 1節-2 韓国の産業と生活 (教科書 p.213～)

急速に進んだ工業化

(1)植民地期

- ・【① 産業抑制策】 →企業の成長は順調ではない。特に南部は鉱産資源に恵まれずめぼしい工業は見られない

土地調査事業(1910～18)	【③ 産米増殖計画】 (1920～)	工業化政策(1931～)
申告により土地所有権を確定。申告漏れになった農民の土地を【② 東洋拓殖会社】が、国有地として没収し、朝鮮最大の地主となって、朝鮮人を小作として支配。	土地改良と農事改良で米の生産を増加させ、日本に移出する計画を実施。朝鮮内は慢性的な食糧不足に見舞われる。	【④ 日窒コンツェルン】などの日本資本が、電源開発を進め、朝鮮の地下資源開発(石炭、鉄)により、重化学工業を推進。北部に工業地帯形成。

(2)独立後

- ・外資導入による【⑤ 輸出指向型工業化】を展開。

外国資本(外国企業)の誘致を進めて、自国の安価な労働力を利用して、工業製品の生産および輸出を行うことで、工業化を進めること。

(3)1960年代～70年代 (【⑥ ^{パクチョンヒ} 朴正熙】 政権の時代 ; 任 1963～79)

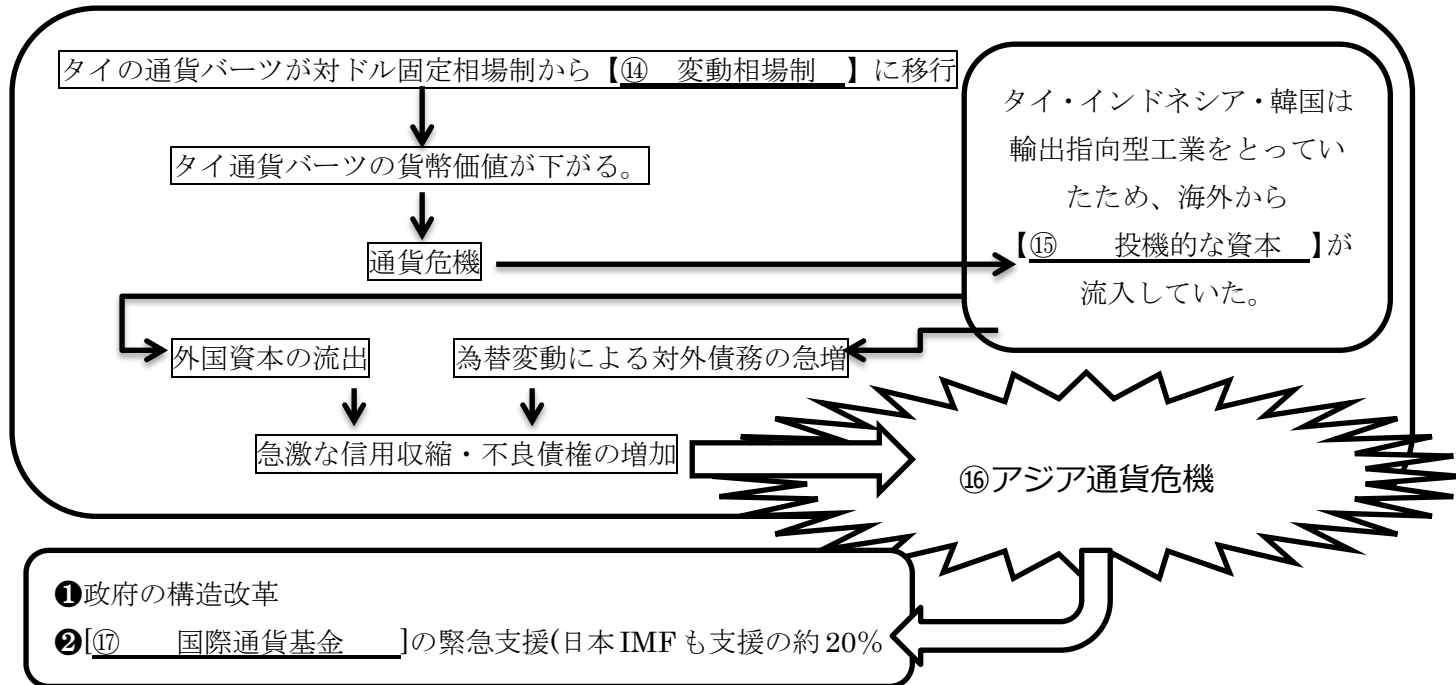
- ・【⑦ 開発独裁】 …経済開発を効率よく進められることを理由に正当化が図られた独裁政治体制。
- ・1960年代後半から高度経済成長を実現。鉄鋼・機械・化学・エレクトロニクス分野で産業を発展。
→この経済成長のことを【⑧ 漢江の奇跡】と呼ぶ！！
- ・【⑨ ポハン】の製鉄所、【⑩ ウルサン】の造船所→教科書 p.213 右上の地図をチェックしよう。
- ・【⑪ 財閥】 …経済成長の牽引力。製造業で圧倒的な支配力、上場企業の利益の半分以上を4大財閥40社が占める韓国の財閥は、日本の財閥(WWⅡ以前)の特徴と「系列」両方の特徴を持つ。

ファミリー・コンツェルン
家族ないし同族の出資による持株会社を統轄機関として頂点にもち、それが子会社、孫会社をピラミッド型に持株支配するコンツェルンを形成。

役員派遣、融資、株式取得、主要取引関係の設定などによる、大企業と中小企業との間の支配従属の関係。下請制の発展したものとしてとらえられ、紡績会社と機業者、自動車会社と部品メーカーなどに典型例がある。

(4)現状

- ・ GDP の推移
→1976年；一人当たり 1000 ドル → 1995年；一人当たり 1 万ドル
- ・ 1996年…【12 経済協力開発機構】(OECD)に加盟
- ・ 1997～98年…【13 アジア通貨危機】



人々の生活の変化

- ・ 都市化の影響…首都ソウルに総人口の 4 分の 1 が集まる。
高層マンション、自動車の増加、地下鉄利用、チマチョゴリは礼服化、白衣から色彩鮮やか
- ・ 教育…受験戦争の過熱 → 塾・家庭教師を規制 → 実効はあがらず
- ・ 通信…インターネット利用者の増大。総人口に占める利用者の割合は世界有数。
- ・ 地方情勢…農村における人口流出、労働力不足。農産物輸入の増加による収入減。

第Ⅲ部 1 章 1 節－3 交流と今後の動向 (教科書 p.215～)

日本との交流

- 日本の植民地支配を受けていた韓国では、2003 年まで日本の文化は制限されていた。
- 現在日本には、韓国・朝鮮の国籍を持つ人が約 60 万人居住(群馬人口の 30%)しており、帰化した人も多い。
- ・ 1910 年～1945 年：日本の植民地統治
- ・ 1948 年…大韓民国建国：日本の文化を歌舞伎などの伝統芸能のみに制限
- ・ 1965 年…【18 日韓基本条約】：日本と韓国の国交樹立
- ・ 1998 年…【19 日韓共同宣言】：日本文化の段階的開放→4 大国際映画祭受賞作、マンガ出版の許可
- ・ 1999 年…70 の国際映画祭受賞作、歌謡公演の許可
- ・ 2000 年…アニメーション、放送、ゲームの許可
- ・ 2002 年…【20 日韓共催ワールドカップ】
- ・ 2003 年…CD 開放 → ほぼ日本文化制限撤廃